

町職員の給与などをお知らせします

# 人事行政運営状況を公表

※詳しくは町ホームページをご覧ください。



町職員の人数や給与の状況などを地方公務員法に基づきお知らせします。他の団体と比較できるよう国の統一公表様式に準じているため、1年前の数値で公表しています。

〈問い合わせ先〉 総務課 ☎ 4 5 - 2 2 1 1

## ① 職員数の状況（令和3年4月1日現在）

職種	職員数	職種	職員数
行政職	123人	技能労務職	1人
医療職	2人	合計	126人

## ② 部門別職員数（令和3年4月1日現在）

部門	職員数	部門	職員数
議会事務局	2人	農林振興課	12人
総務課	15人	建設水道課	15人
企画情報課	8人	出納室	3人
町民税務課	14人	学校教育課	8人
福祉介護課	12人	生涯学習課	5人
健康増進課	24人	合計	126人
商工観光課	8人		

## ③ 人件費（令和2年度一般会計決算）

歳出総額（A）	78億5,952万円
人件費（B）	10億70万円
人件費率（B/A）	12.73%

## ④ 職員給与の状況（令和2年度一般会計決算）

職員数（A）	給与費計（B）	1人当たり給与費（B/A）
103人	5億6,393万円	547万円

※職員数は一般会計で給与を支出している人数

## ⑤ 平均給料月額など

職種	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
行政職	318,747円	368,408円	42.1歳

※平均給料月額とは基本給の平均で、平均給与月額は給料月額と扶養手当や住居手当などの諸手当の額を合計したものの。

## ⑥ ラスパイレス指数（各年度4月1日現在）

年度	西会津町	県内町村平均	全国町村平均
令和3年度	98.6	97.8	96.3
平成28年度	97.6	98.4	96.3

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の町職員の給与水準を示したものの。

## ⑦ 初任給の状況（令和3年4月1日現在）

区分		西会津町	福島県
行政職	大学卒	186,500円	193,100円
	高校卒	153,900円	158,400円
技能労務職	高校卒	149,500円	156,300円

## ⑧ 手当の状況

### ◎ 毎月支給する手当

扶養手当	扶養親族を持つ職員に対して支給
住居手当	借家に居住し家賃を負担している職員に対して支給
通勤手当	使用する交通機関所要額および自家用車の使用距離に応じて支給

### ◎ 勤務実績により支給する手当

時間外勤務手当	正規の勤務時間を超えて勤務したときに支給
特殊勤務手当	危険、不快、不健康または困難な業務に従事する職員に対して支給

### ◎ 期末・勤勉手当（令和2年度）

期末手当	勤勉手当	1人当たりの平均支給額
2.50月分	1.90月分	1,524,729円

※職制上の段階などによる加算措置として、役職加算で5～15%を加算しています。期末・勤勉手当は年間4.40月分を6月と12月の2回に分けて支給。なお、国の支給割合は期末手当が2.55月分、勤勉手当が1.90月分。

### ◎ 退職手当（令和2年4月1日現在）

区分	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	19.67月分	24.59月分
勤続25年	28.04月分	33.27月分
勤続35年	39.76月分	47.71月分
最高限度額	47.71月分	47.71月分

## ⑨ 特別職の報酬など（令和3年4月1日現在）

区分		給料月額等	期末手当
給料	町長	750,000円	3.20月分
	副町長	630,000円	
報酬	議長	300,000円	
	副議長	247,500円	
	議員	225,000円	



# 議案24件を審議・可決 9月町議会定例会報告

9月9日から16日までを会期に開かれた令和4年第6回町議会定例会では、条例の制定および一部改正や令和3年度歳入歳出決算の認定、令和4年度補正予算など議案24件が審議されました。町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとおりです。

## 町政の主要事項 報告から

**令和4年8月豪雨災害**——  
本災害について、町では、被災した道路や河川などの公共土木施設、農地および農業用施設、林道施設などの早期復旧に向け、県選出国會議員などへ本災害に係る激甚災害の指定を強く要望しました。同時に、J.R新潟支社および仙台支社に対し、代行バスの運行や崩落した濁川橋りょうの早期復旧も併せて要望を行いました。ほかにも、道路の応急復旧や、出穂期に必要な用水を確保するための揚水ポンプの貸し出し支援を行



▲ 河川の増水で土砂が流れ込んだ水田

うなどの災害対応にあたっています。  
今後も引き続き国・県など関係機関と連携を図りながら、本災害からの1日も早い復旧と町民生活の安定に向けて全力で取り組みます。

町における新型コロナウイルスの感染状況と対応——  
県内では、お盆前後から新型コロナウイルス感染症の感染者数が急増しました。町でも6月11日から9月7日までの間に新たに199人の陽性が確認され、町内での累計感染者数は275人となりました（9月8日現在）。  
町では、感染予防対策の強化、基本的な感染防止対策のお願いを求める町長メッセージや感染予防情報をケーブブルテレビで放送したほか、臨時区长文書によるチラシの全戸配布、ホームページやSNSによる注意喚起などの対策を行いました。

## 新型コロナウイルスワクチン接種

——  
町での4回目追加接種は、3回目の接種終了から5カ月が経過した、60歳以上の人と18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する人およびその他重症化リスクが高いと医師が認める人、医療従事者や高齢者施設従事者を対象として進め、

9月7日に集団接種を終了しました。  
また、ワクチン接種率については、9月7日現在、接種対象者3600人の83・1割にあたる2993人が4回目の接種を終了しました。なお、町の集団接種会場では重篤な副反応の発生はありませんでした。

## 磐越自動車道4車線化等事業の進捗について

——  
西会津・会津坂下インターチェンジ間の4車線化（工事延長9・1km）については、東日本高速道路株式会社が沿線の野沢本町・菅本・縄沢・軽沢自治区に対し説明を行い、ボーリング調査や設計業務を進めています。このほかにも、新たに地下水や河川などの流量・水質状況を確認する水文調査を実施しています。

また、西会津・津川インターチェンジ間（工事延長8・8km）についても、沿線の塩喰・牧・白坂・屋敷・楢木平・熊沢自治区に対し説明を行い、水文調査および本体工事のた

めの道路や、資材置き場などを準備する工事が進められることになっていきます。

## 鳥獣被害の防止対策

——  
町では、7月24日に鳥獣被害の防止対策に対する意識の高揚を図ることを目的として、町内で初めて、クマ出没時対応訓練を実施しました。訓練は上野尻区内で実施され、町猟友会や喜多方警察署西会津交番、上野尻自治区の皆さんが参加して、クマが民家近くに出没した場合を想定して行いました。その中で、人身被害の防止や山へ追い払う方法など、それぞれの役割や対応について確認しまし

た。  
なお、本年度の鳥獣被害防止対策の状況は、電気柵の設置数が個人39件、団体17件で、合計で延長約31・5kmの電気柵が設置されました（9月8日現在）。また、鳥獣駆除数は、町猟友会の協力の下、イノシシ9頭、ツキノワグマ17頭、ニホンザル22頭を捕獲しています（9月8日現在）。

## 農林産物風評払拭事業

——  
7月22日から23日の2日間、喜多方市・北塩原村・JA会津よつばと合同で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休止していた会津産農林産物の風評払拭活動を千葉県市川市で3年ぶりに実施しました。

さらに、7月28日、29日には会津17市町村とJA会津よつばと合同で、東京都の市場関係や豊洲市場、福島県のアンテナショップがある「日本橋ふくしま館ミデッテ」などを訪問し、トップセールスを行いました。  
今後も、同事業を通して積



▲ 千葉県市川市での活動の様子

極的な風評払拭活動を行い、西会津産農林産物の安全・安心をPRしていきます。

## 可決された議案

- ◆ 町有害鳥獣解体処理施設条例の制定 II 旧野沢中学校跡地に新たに建設する「有害鳥獣解体処理施設」の設置について定める条例を制定
- ◆ 町職員の育児休業等に関する条例の一部改正 II 地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴う所要の改正
- ◆ 町税条例の一部改正 II 国の税制改正に伴うたばこ税に係る所要の改正
- ◆ 町都市公園条例の一部改正 II さゆり公園体育館に整備した空調設備の使用に伴う利用料の設定などに係る所要の改正
- ◆ 町体育施設条例の一部改正 II 野沢体育館の冷暖房設備の使用に伴う利用料の設定などに係る所要の改正
- ◆ 令和3年度決算の認定（一般会計ほか）
- ◆ 令和4年度一般会計補正予算（第3次） II 普通交付税の決定および令和3年度繰越金の確定、8月に発生した豪雨災害に係る復旧事業費など7億444万6千円を増額
- ◆ 令和4年度一般会計補正予算（第4次） II 8月に発生した豪雨災害に係る被災者への支援金や災害廃棄物などの処分経費656万7千円を増額
- ◆ 令和4年度特別会計補正予算（国民健康保険・介護保険特別会計）
- ◆ 町特別功労表彰者の決定への同意 II 新田興助さん（在京西会津会会長・神奈川県在住）、渡部昌さん（上野尻）、新田博美さん（森野）、長谷川克美さん（松尾）の決定に同意
- ◆ 財産の取得 II ケーブルテレビ自主放送送出設備および放送用機材と消防小型動力ポンプ付き積載車の更新
- ◆ 教育委員会委員の任命への同意 II 高橋誠さん（柴崎）の任命に同意

## 温かいご支援ありがとうございました 福島民友新聞社が災害義援金を町へ寄付

町では、8月上旬に発生した記録的な大雨による災害に対し、公益社団法人福島民友愛の事業団（事務局：福島民友新聞社）より災害義援金の寄付を受けました。

9月20日、福島民友愛の事業団の菊池克彦評議員（福島民友新聞社常務取締役）が町役場を訪れ、薄町長に義援金を手渡しました。菊池評議員は、「この義援金は、福島民友新聞の読者の皆さんから寄せられたものです。この度の豪雨災害から1日も早い復旧に向けて役立ててください」とあいさつし、薄町長は「温かいご支援に感謝申し上げます。被災した皆さんの支援のために有効に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。







## 宝くじの社会貢献広報事業

## コミュニティ助成事業で各集会所にエアコンを整備

安座自治区、尾登自治区、縄沢自治区、出ヶ原自治区、宝川自治区、極入自治区では、本年度の一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により、各集会所で使用するエアコンを整備しました。

コミュニティ助成事業は、地域のコミュニティ活動の充実・強化と住民福祉の向上などを目的に、「宝くじの社会貢献広報事業」として宝くじの受託事業収入を財源に実施されています。

## 〈問い合わせ先〉

企画情報課 企画政策係 ☎ 4 5 — 4 5 3 6



## 町長コラム

## その 28

1人の女性が生涯に産む見込みの子どもの数を表す「合計特殊出生率」という数値がある。日本の人口を維持するためには、1人当たり2.06〜2.07人が必要な数値とされている。

先日、全国紙にその合計特殊出生率が2.95人の町が紹介されていた。岡山県の奈義町である。人口が6千人弱で高齢化率が34.4%、面積が69.52平方メートル、西会津町の約4分の1の大きさで日本の田舎といわれる町として紹介されている。奈義町の子育て支援策は、高校生までの医療費無料、保育料は第1子を半額・第2子以降を無料、小中学校の給食費の補助、月額5万円で二戸建て(3LDK)若者住宅の整備のほか、高校生1人当たり年間13万5000円を3年間支給(町外の高校に通う通学費の一部補助)などである。また、子育て世代をつなぎ、育児の不安を解消するための場として子育て支援施設(チャイルドホーム)を整備し、町民みんなで子どもを大切に育てている。

西会津町の合計特殊出生率は1.62人で全国平均の1.43人を上回っており、福島県59市町村の中でも上位である。少子化が叫ばれて久しいが、町ではこれまで、保育料の無料化や結婚祝金・出産祝金の支給、18歳までの医療費無料のほか、不妊治療の助成に子育て支援センターの設立など、奈義町に劣らぬさまざまな支援策を講じてきた。今後も、町を活性化するために若い世代の皆さんの意見を聞き、安心して子どもを産み育てられる環境整備のため、最大限の支援に取り組んでいきたい。

西会津町長

薄反喜

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

## 有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1 枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1 枠当たり5,000円/月

## 〈問い合わせ先〉

企画情報課 広報広聴係 ☎ 4 5 — 4 5 3 6